

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業

(遊廓社会研究会と共催)

周縁的社会集団と近代一日本と欧米におけるアジア史研究の架構 第20回セミナー (2019年度第5回)

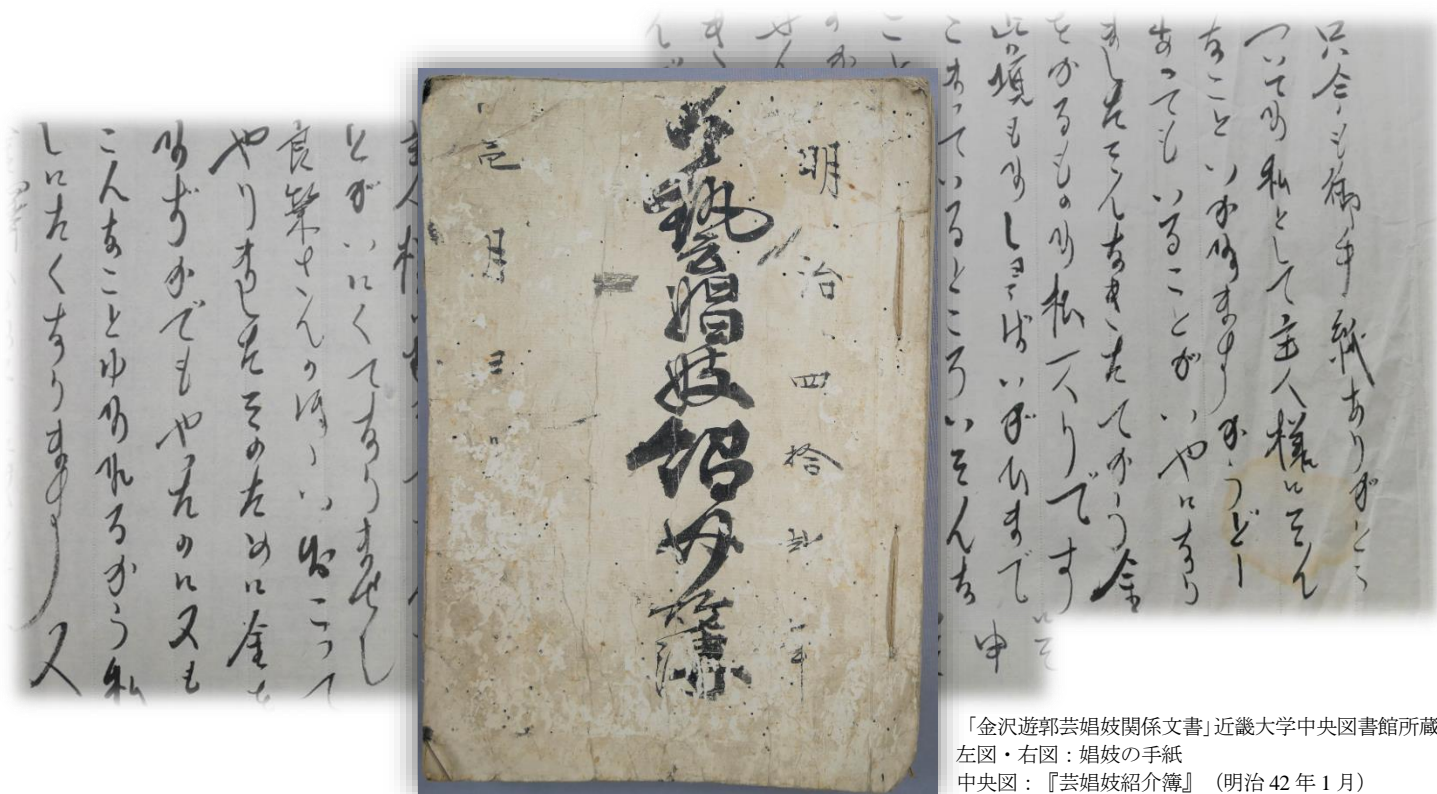
今回のセミナーでは、本事業担当研究者である人見佐知子氏に報告をしていただきます。

人見氏はこれまで、近世～近代移行期の公娼制度の変容を「芸娼妓解放令」に注目し、その歴史的意義を実態に即して分析してきました。

2018年に近畿大学中央図書館が古書店を通じて購入した古文書は、遊廓社会の重要な要素である「芸娼妓紹介業」いわゆる周旋業を営んでいた女性・小原トヨ（石川県金沢市）が残した文書で、総点数300点以上。これらは、人見氏による史料整理の過程で、周旋業者の実態に一次史料から迫り得るたいへん貴重な史料群であることが明らかになりました。

今回の報告では、この小原トヨ文書を紹介しながら、娼妓・芸妓を貸座敷や料理屋に斡旋し手数料を得ていた「芸娼妓紹介業」の実態を、経営関係文書や娼妓の手紙などから論じていただきます。

近世・近代遊廓社会史、都市社会史、近代公娼制度に関心のある皆さまのご参加をお待ちしております。



「金沢遊廓芸娼妓関係文書」近畿大学中央図書館所蔵

左図・右図：娼妓の手紙

中央図：『芸娼妓紹介簿』（明治42年1月）

日時 2019年10月25日(金) 16:30～19:00ごろ

会場 大阪市立大学文学部棟1F L122

内容 人見佐知子氏(近畿大学文芸学部 文化・歴史学科 /担当研究者)

「金沢の芸娼妓紹介業と娼妓」

※JSPS 科研「一次史料に基づく近代日本の「遊廓社会」に関する総合的研究」（代表・佐賀朝）との共催です。

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局

佐賀 朝(文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp